

秋田美大付高等学院 創立70周年記念展



秋田公立美術大付属高等学院の70周年を記念し在校生や卒業生らが出展した作品展

150人出展、作品多彩

31日まで 県立美術館

今年で創立70周年を迎えた「い表現が来場者の目を惹きま
秋田公立美術大付属高等学院」を記念して、31日まで。
(秋田市新館)の記念作品展「展示品は絵画やイラストの
が28日、同市中通の県立美術館 ほか木工、金工、家具、陶器
館の呉民ギャラリーで始まる「建築デザインなどさまざま。
た。在校生や卒業生、教職員」故人を含む元教職員や秋田美
らの多彩な作品が並び、幅広い大の教員らの作品も並び、出

展者は総勢約150人に及ぶ。

在校生80人は、授業や実習で取り組んだデザインやデザイン案などを出品。真ちゅうの板を手作業で切り、磨いて作ったバターナイフや、フィルムで撮影・現像したクラスメートのモノクロ写真もある。

前身の市立工芸学校時代の卒業生から、また卒業したばかりの若手まで40人余りのOB、OGも作品を寄せた。人間国宝の玉川宣夫さん(1958年度卒)による木目金の花瓶もある。

一部の卒業生は、作品説明の中に「フリーデザイナーとして頑張っています」「アニメの背景会社に勤務しています」など、近況を書き添えていて、最近の活躍ぶりをうかがい知ることができる。会場の受け付けも卒業生が担っている。

勤続二十余年という岸上恭史教諭(木材工芸)は「展示を通して、学院の果たしてきた役割や卒業生の活躍が伝わればうれしい」と話した。
入場無料。午前10時～午後6時(最終日は4時)
(嶋崎宏樹)